広島市立大学の社会貢献2024

3つのひかり　未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

30th Anniversary

科学と芸術を軸に
世界平和と地域に貢献する
国際的な大学を目指して

Contents

01 広島市立大学地域共創センターについて

02 行政機関や地域団体・住民との連携
広島市立大学の社会貢献

03 教育カリキュラム「地域志向特定プログラム」
地域展開型芸術プロジェクト
いちだい地域共創プロジェクト
社会連携プロジェクト
市大生チャレンジ事業

04 市民を対象とした公開講座

05 産学連携の推進
産学連携教育

06 外部資金の獲得等
ホームページ・アクセス等

ひとと、まちと、これからも。広島市立大学
Hiroshima City University

広島市立大学は2024年４月、開学30周年を迎えました。
広島市立大学は「科学と芸術を軸に世界平和と地域に貢献する国際的な大学」を建学の基本理念とし、国際平和文化都市を標榜する広島市が設置した初めての公立大学として1994年４月に国際学部、情報科学部、芸術学部の３学部構成で開学しました。

■ ごあいさつ

広島市立大学は、地域の発展と地域課題の解決に資する教育研究を展開し、豊かな未来を地域と共に創りあげることで、広島広域都市圏の持続的発展を目指すことを使命と考えています。
2024年4月、地域連携と研究推進を中心とした産学連携を強化し、地域共創に資する取り組みを一層着実に進めていくため、社会連携センターを改組して、地域共創センターを設置しました。
大学と社会、人と人とをつなぎ、国際、情報科学、芸術、平和のそれぞれの分野で活躍する教員や学生の成果を社会に還元するための取り組みを行っています。主な取り組みとしては、産学連携の推進、地域連携の推進、研究の推進、知的財産の管理と活用、学生の社会貢献活動の支援、公開講座などがあります。
本パンフレットでは、本学の社会貢献活動の一端を紹介しております。地域や行政機関の皆様、産学官および地域の皆様に地域・社会貢献活動の取り組みを知っていただくとともに、さらなる連携のきっかけとなれば幸いです。

地域共創センター長　田村　慶一

■ 地域共創センター所掌業務

広島市立大学地域共創センター

地域連携グループ

□地域連携の推進
- 行政課題解決への協力
- NPO/市民等の協働事業
- 大学と行政の協働による創造的な文化芸術活動や地域交流等
- 基町プロジェクト活動拠点「M98」での地域再生事業
- いちだい地域共創プロジェクト

□公開講座
- 一般向け公開講座
- 中・高校生を対象とした公開講座
  - ▷芸術学部サマースクール
  - ▷高校生による情報科学自由研究
- 社会人を対象とした講座等の企画・実施
- 県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

□学生の社会貢献活動の支援
- 市大生チャレンジ事業

地域連携グループへのお問い合わせ
TEL：（082）830-1542
FAX：（082）830-1555
E-mail：chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

研究推進・産学連携グループ

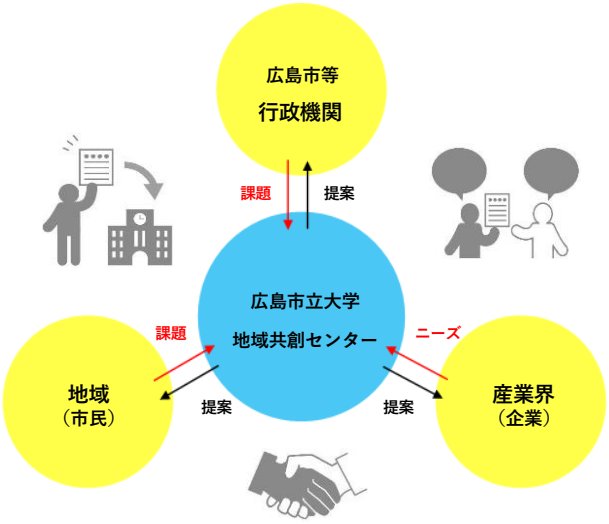
□産学連携の推進
- 研究成果の産業界への還元
- 共同研究・受託研究の促進
- 企業等からの技術相談
- 産学官連携推進協力会
- 産学連携発表会
- 知的財産管理
- 大学発ベンチャー創出支援

□研究の推進
- 科研費申請支援
- 補助会・研究助成金等の受入れ
- 学内各種研究支援制度の企画・運営
- 研究不正防止
- 利益相反マネジメント
- ヒトを対象とした研究倫理
- 安全保障輸出管理　など

研究推進・産学連携グループへのお問い合わせ
TEL：（082）830-1764
FAX：（082）830-1555
E-mail：ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp

■ こんなときは、地域共創センターへ

大学には教育、研究成果等の資源を活用して、市民・地域社会・企業等と連携し、地域・社会貢献を行うことが求められています。広島市立大学は、地域と共生し、市民の誇りとなる大学を目指しています。
地域共創センターは、地域の皆様、産業界の皆様と大学をつなぐ窓口です。連携事業等のお問い合わせがございましたら、本学教員とのマッチングを行いますので、お気軽にご相談ください。

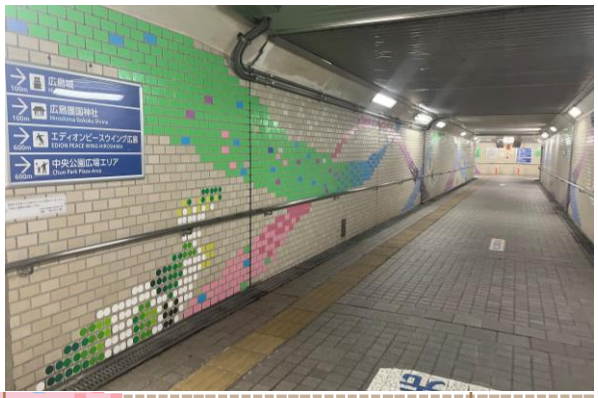


基町プロジェクト

「基町プロジェクト」は、2013年7月に広島市が地元住民と連携しながら策定した「基町住宅地区活性化計画」に掲げている「基町アートロード、アートによる魅力づくり」の実現を目指す取り組みです。
若者が主体となった創造的な文化芸術活動や地域交流を通じて、まちの魅力づくりや、基町住宅地区の活性化を目的とします。

広島城地下道美装化

広島城の魅力向上の一環として、令和４・５年度の２か年をかけて、紙屋町方面から広島城表御門への主要アクセスルートである「城南地下道」の美装化に取り組みました。
デザインの作成や設計・施工は、本学と広島市と連携した地域貢献事業として実施しており、本学学生等の作業により広島の水の流れと鯉をモチーフとした美装化が完成しました。
今回の美装化で、魅力的な動線が形成され、回遊性・アクセス性が向上することが期待されます。



ひろしまLMOロゴマークデザイン

広島市が、「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき、各地域での構築に取り組んでいる「広島型地域運営組織『ひろしまＬＭＯ（エルモ）』」のロゴマークを芸術学部デザイン工芸学科の２年生がデザインしました。学生４名が、つながり、笑顔、地域愛などをテーマにデザインした計12案（一人３案）の中から、広島市役所内部の選考を経て決定されました。

堤平神社 奉納額絵推定復元模写（受託研究）

2022年堤平神社（広島市安佐南区東野）の遷座の機に依頼を受け、奉納額絵「天岩戸図」と「一ノ谷の戦い」の模写制作を行いました。原本は明治初期の作と考えられ、額には地域の氏子連名で奉納されたことが記されています。経年変化による剥落・褪色が進み図像の大半が失われていましたがデジタル撮影調査によっておおよその図像を導き出しました。細部や描画方法については資料や近隣地区、同時代の類似作品を調査検討の上制作しています。今回板絵彩色指導に中村寿生先生（文星芸術大学 准教授）、鏡板作成に宮大工の三村康久棟梁（康和建工株式会社）にご協力頂きました。

復元後

一ノ谷の戦

天岩戸図

体育施設の壁画デザイン（受託研究）

北広島町壬生の医療施設内の体育館壁面を地域に親しまれるデザインで彩る

地域住民の健康増進を目的に建設された医療法人の体育施設の壁画デザインを行いました。制作にあたっては、現地の地域性(風土・文化・歴史)を表現するために調査し、さらにスポーツ施設に相応しいアクティブなイメージも加えることに留意し制作し、芸術視覚造形の学生2名がデザイン2案ずつ出し合いました。依頼主による選考でデザインが決定されました。

大学と企業のコラボレーション

企業と共にデザインの共創ゼミを開講

2017年度から、マツダ株式会社デザイン本部の担当者の指導を仰ぎながら、工業デザインとモノづくりの精神を学んでいます。年ごとにテーマを変えて、実用的な作品を制作し、発表しています。また、2022・2023年度には、アサヒグループジャパン株式会社と、同社が広島県内に所有する「アサヒの森」をテーマに、森の大切さを啓発することを目的とした共同ゼミを開講しました。2022年度は間伐材によるプロダクトの開発、2023年度は環境学習のデジタルコンテンツを制作し、今後小学校の授業などに使われます。

アサヒグループ共創ゼミ

マツダ共創ゼミ

―地域に貢献する人材育成を目指し、学習や体験を行う―

本学は 2015 年度から 2019 年度の 5 年間、文部科学省から「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業（COC+）」の実施校に選定され、地方への人の集積を目的に、広島広域都市圏の市町に尾道市を加えた 25 の自治体や地域の企業、大学と連携して、地域に定住し、貢献していく人材を育成するプロジェクトを進めてきました。
※COC はセンター・オブ・コミュニティの略称

地域を拓くなりわいを知る（広島県世羅町）

空き家再生から尾道の魅力と課題を知る（広島県尾道市）

地域社会の発展には若い世代の力が不可欠です。公立大学である本学にとって、地域に定着し貢献する学生を育成することは重要な使命となっています。
「地(知)の拠点大学による地方創生推進事業(COC+)」を契機として始めた「地域志向特定プログラム」は、１、２年次の共通教育として、地域課題演習、地域再生論入門、広島の観光学、広島の産業と技術、などを履修し、２、３年次の専門教育では学部ごとに地域に関連した科目や地域実践演習が組まれています。さらに、４年次で地域をテーマにした論文、研究、制作に取り組みます。プログラムの単位取得者には「ひろしま地域リーダー」の称号が授与されます。
このプログラムにより、地域の特性や課題を理解し、解決方法を総合的に考え、ネットワークを形成・調整し、専門性を効果的に発揮するという能力の育成を目指しています。

食と農、里山ライフスタイルを知る（広島県安芸高田市）

地域課題演習・合同発表会

―地域の魅力の資源をアートやデザインで表現―

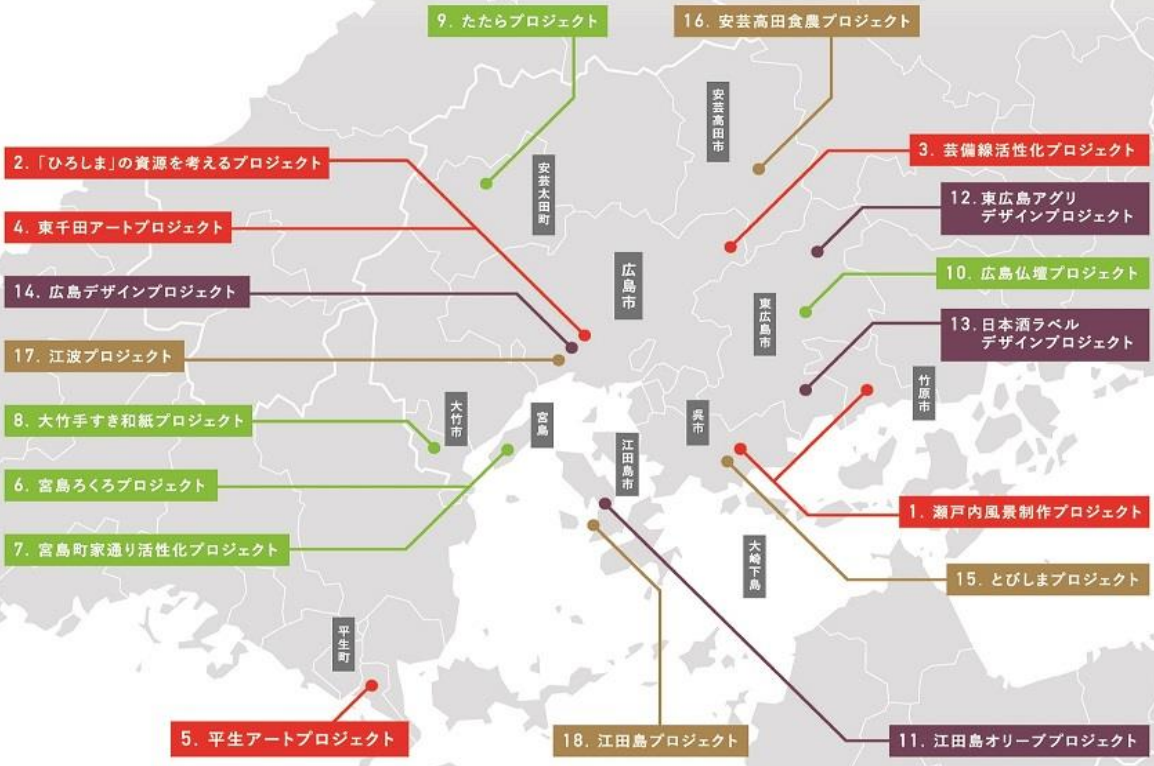
芸術学部の学生と教員が地域に出向き、アートやデザインによって、地域の魅力や資源などにスポットを当てる表現活動を行っています。学外教育として、学生が現場の環境や人々と触れ合いながら、取材、制作を進めるプロセスの中で、地域への発見や気付きを得る機会となっています。作品の展示やワークショップなどの地域活動によって交流も生まれています。

地域展開型 芸術プロジェクト

Practical education of arts in Hiroshima

2020-2023

広島広域都市圏 × 芸術教育 × 地域貢献



地域×アート (arts)

	プロジェクト	実施年
1	瀬戸内風景制作プロジェクト	2022-2023
2	「ひろしま」の資源を考えるプロジェクト	2022-2023
3	芸備線活性化プロジェクト	2021-2023
4	東千田アートプロジェクト	2022-2023
5	平生アートプロジェクト	2023 -

地域×伝統工芸 (traditional crafts)

	プロジェクト	実施年
6	宮島ろくろプロジェクト	2020-2023
7	宮島町家通り活性化プロジェクト	2022
8	大竹手すき和紙プロジェクト	2020-2023
9	たたらプロジェクト	2022
10	広島仏壇プロジェクト	2021

地域×デザイン (designs)

	プロジェクト	実施年
11	江田島オリーブプロジェクト	2020
12	東広島アグリデザインプロジェクト	2021-2023
13	日本酒ラベルデザインプロジェクト	2023
14	広島デザインプロジェクト	2020

地域×コラボレーション (collaborations)

	プロジェクト	実施年
15	とびしまプロジェクト	2020-2023
16	安芸高田食農プロジェクト	2022
17	江波プロジェクト	2023-
18	江田島プロジェクト	2021

3つのひかり 未来をつくる
広島市立大学
Hiroshima City University

プロジェクトの詳細はこちら

いちだい地域共創プロジェクト

いちだい地域共創プロジェクトは、本学の教職員や学生が地域の関係者等と協働して、地域社会が直面する課題の解決に取り組むことで、広島広域都市圏およびその周辺地域の地域活性化と持続的発展に貢献することを目的として、2022年度から始めた事業です。

▶2023年度採択事業

01 カープミュージアム設立プロジェクト

課題提案地域団体：カープミュージアム設立プロジェクト
代表教員：国際学部　教授 吉田 晴彦

【活動の目的】
原爆からの復興の象徴となった広島東洋カープ草創期の歴史を後世に語り継ぐことのできる本学学生を、カープかたりべの会と協力しながらの育成。活動を通じ、広島のもう一つの平和のシンボル・カープにまつわる歴史を学びながら、既に広島市が所有する球団草創期の貴重な資料を活用し、さらには地域の更なる活性化につながるミュージアム建設を中期的な目標とする。市民の機運を盛り上げるための企画を運営・実施しながら、ミュージアム建設の可能性を検討していく。そのために、各学部生の強みを生かした創意工夫、グループ内・グループ外のコミュニケーション能力の向上、企画立案能力の育成を目指す。

02 広島湾岸トレイル構想事業　山歩きの魅力と効能の考察とＰＲツールの制作

課題提案地域団体：広島湾岸トレイル協議会
代表教員：芸術学部 准教授 藤江 竜太郎

【活動の目的】
広島湾岸の山.川.街.海.島を越えて、瀬戸内の絶景を友に歩く山旅！ 世界でも類を見ない都市隣接周回型の広島湾岸トレイルは、4市5町にまたがる陸路291.9km！市民が立ち上げ開発し、市民が維持管理・運営を行っているが、広島湾岸トレイル協議会の所属団体の多くは、比較的高齢の方が担っており、整備や運営の継続性が懸念されています。本学学生が広島湾岸トレイルを体験し、若者目線で発見した魅力をPRツールで表現することにより、若者やファミリー層に活用され、ひいては山道の整備やイベントの運営等にも興味を持ってくれる人が増加することを目指す。
〇2023-2024年度採択事業

03 熊野町つなぐプロジェクト

課題提案地域団体：熊野町つなぐプロジェクト
代表教員：教育基盤センター 特任講師 三上 賢治

Instagram　note

【活動の目的】
広島県安芸郡熊野町には豊かな自然環境やアウトドアなどの多目的施設が豊富にあるが、町民の認知度が低く、利用もほとんどない。また、熊野町へ移住した住民の多くが、熊野の自然環境を気に入り移住を決めた重要な要素の1つに上げており、地域住民からも、アウトドア用品を揃える負担や準備などやり方がわからないものの「やってみたい」という意見が多くある。熊野町の自然環境・アクティビティ施設を、さらに多くの人に楽しんでもらい、地域の「人と人」や「人と場」がつながる環境づくりを行う上で、先ずは熊野町に点在する自然やアクティビティ資源の見える化・発信を今年度の目的とする。
〇2023-2024年度採択事業

04 竹原市の観光資源である「大久野島」の地域連携活性化事業

課題提案地域団体：TAKEHARAフロティアプロジェクトチーム
代表教員：情報科学研究科 准教授 島 和之

【活動の目的】
竹原市の「大久野島」では、コロナ禍前には多くの観光客が訪れ、うさぎをはじめとした「大久野島」の環境を楽しみながら、有意義な時間を過ごされてきた。しかし、コロナ禍により観光客が減少し、市としても大きなダメージを受けてきた。その反面、人の往来が少なくなり、島の環境が改善した。また、うさぎの健康状態が改善したという、良い面もみられてきた。
そこで、大久野島のうさぎや海ほたるなどの自然環境や毒ガス工場の歴史を伝える映像を作成し、環境保護や平和について考える。

05 だんばらのえんこうさん

課題提案地域団体：段原おやじの会
代表教員：芸術学部 講師 城井 文

【活動の目的】
段原地域は再開発が落ち着いてから数十年が経過し、過去の状況を知らない住民が増えているため、住民が楽しく暮らし、移り住む人とも交流できるようにするには、自分の町に愛着が必要だと考える。
地域への愛着を醸成するための手段として、段原本を制作したが、第二弾は絵本にし、猿猴川の河童をモチーフにしたあらすじがあるので、それを題材として絵を描き、過去の写真や解説を挿入するなどを構想している。
地域住民と若い学生が、まちづくりと本づくりを考える中で交流し、お互いの知識やアイデア交換を目的とする。
〇2023-2024年度採択事業

06 コロナ禍でも健康体操で交流したい。もっと。

課題提案地域団体：比治山学区社会福祉協議会
代表教員：情報科学研究科 准教授 岩根 典之

【活動の目的】
コロナ禍など、対面活動が制限される事態になったとしても、健康維持のための活動（百歳体操、交流など）を止めることなく持続できる環境の在り方を模索する。そして試行錯誤しながら、心理面と身体面から健康の維持促進を可能にするよう対面からオンラインまでカバーする楽しいハイブリッド環境の展開普及を目指す。また、見守りなどのため、このプロジェクトをきっかけとしてスマートフォンを活用できる高齢者を増やす。
〇2022-2024年度採択事業

07 アーティストのために整備した「AIR Hiroshima Studio」と「AIR Hiroshima Gallery」の活用による地域の文化・芸術の振興への寄与

課題提案地域団体：横川エリアマネジメント連絡協議会
代表教員：芸術学部 准教授 石谷 治寛

【活動の目的】
横川エリアマネジメント連絡協議会は2020年に４つの市営店舗を借り受け、そのうち2つの場所を改装し、「AIR Hiroshima Studio」と 「AIR Hiroshima Gallery」の２つの空間を整備した。
スペースの積極的活用を目指し、地域で活動する創作者や市民から指導を受けながら、文化・芸術の振興が可能な場所として国際的に周知していくことを目指す。
〇2022-2024年度採択事業

社会連携プロジェクト

社会連携プロジェクトは、本学の目標「国際平和文化都市の『知』の拠点―地域と共生し、市民の誇りとなる大学―」の実現に貢献するため2011年度から始まった事業です。
2008年度からの16年間で合計98件のプロジェクトを展開してまいりましたが、2023年度をもって終了しました。
2024年度からは、「いちだい地域共創プロジェクト」や「特色プロジェクト研究」などのプロジェクトにおいて、教育研究の成果を地域社会に還元するとともに、行政や企業、地域団体等と連携した人材育成に資する活動を行ってまいります。

▶2023年度採択事業

01 農村地域の将来に対する住民の心の内と真の地域の魅力への接近

連携先：株式会社とまとはうすコーポレーション
代表教員：国際学部 准教授 山根 史博

02 ドローンを活用した地域課題の検証と地域資源の探索

連携先：鹿老渡区・自治会、倉橋郵便局
呉市産業部商工振興課
代表教員：国際学部 教授 山口 光明

03 広島市及び広島広域都市圏における「スポーツを通じた国際交流」の開催

連携先：JICA中国、国連ユニタール協会
広島大学大学院 人間社会科学研究科 教授
広島文化学園大学 人間健康学部 助教
代表教員：国際学部 講師 山平 芳美

04 似島歴史ガイドのQRコード案内システムの作成

連携先：似島歴史ボランティアガイドの会
代表教員：教育基盤センター 特任教授 國本 善平

05 地域貢献医工学教育プログラム「ひろしま医工学スクールSummer2023」

連携先：広島県商工労働局イノベーション推進チーム
代表教員：情報科学研究科 准教授 常盤 達司

06 三都半島アートプロジェクト2023

連携先：小豆島町
代表教員：芸術学部 助教 友定 睦

学生が自ら選定した課題や地域などから提案されたテーマに基づき実施する社会貢献活動を支援することにより、学生の豊かな人間性を育み、さらに自主性や問題解決能力を養成することを目的として、プロジェクトを実施するグループに対し補助金を交付します。

▶2023年度採択事業

01 みんなのバス

代表者：芸術学研究科 博士前期1年 ジョン・テヨン
構成員：7名
アドバイザー：芸術学部 教授 吉田 幸弘
芸術学部 准教授 中村 圭

【目的】
バス停の位置および路線図を利用者の立場から考察し、調査・改善を通じてバスの利便性を向上させ、より豊かな生活環境に貢献する。

02 大崎上島・豊島の方々と地元の素材で草木染め体験

代表者：芸術学部 2年 川口 春
構成員：4名
アドバイザー：芸術学部 講師 今野 健太

【目的】
救世軍豊浜学寮（児童養護施設）で生活する子ども達に、普段経験することが難しい草木染体験を一緒に行い、「美術」を通じた交流を図り子ども達の思い出作りに貢献する。
2022年度からの繋がりである大崎上島地区の方々と継続的な活動を行うことで新たな地域課題を探る。
〇2022-2023年度採択事業

03 地域活性化のための情報格差をなくす掲示板アプリケーションの開発

代表者：情報科学研究科 博士前期1年 山﨑 陽介
構成員：3名
アドバイザー：情報科学研究科 教授 弘中 哲夫

【目的】
回覧板+αの機能をもち、「簡単」に操作が可能な掲示板アプリ"CocBan"（コクバン）を開発することで、広島市が掲げている「地域コミュニティ活性化ビジョン」の推進を図る。
〇2023-2024年度採択事業

CocBan
ホームページ

04 耳の不自由な人や外国人向けの字幕表示システム

代表者：情報科学部 4年 リュウ・シャン
構成員：3名
アドバイザー：情報科学研究科 助教 森 康真

【目的】
紙芝居は、日本特有の文化であり、身近で気軽なパフォーマンスである。これまで耳の不自由な人や外国の人への対応はあまり行われておらず、アドリブ等の字幕表示は難しいという課題がある。
人工知能の技術を使って、日本語や外国語で字幕表示し、ユニバーサルデザインの紙芝居の実現に貢献する。
〇2023-2024年度採択事業

社会全体の生涯学習ニーズの高まりのなかで、大学は身近な生涯学習機関としての役割も求められています。広島市立大学では、こうしたニーズに応えていくため、その専門性を生かし幅広い層を対象とした公開講座を積極的に開催しています

国際学部

国際学部公開講座

国際フェスタの開催に合わせて広島国際会議場で開催する公開講座、国連UNHCRの上映会と関連するテーマに関する講演する公開講座等を行っています。

2023年度実施講座名	会場	受講料	定員	受講者
「身近な生き物と国際関係」	オンライン	無料	100人	60人
「Hiroshima and Peace Studies ～平和都市広島の平和のメッセージとは何か～」	広島国際会議場	無料	100人	53人
「難民問題と女性の平和」	合人社ウェンディ ひと・まちプラザ	無料	100人	80人

市大英語 e ラーニング講座

広島市立大学国際学部が開発した「ネットワーク型集中英語学習システム」を利用し、指定された学習時間の中で、自宅等で各受講者が都合のよい時間にパソコンで英語学習を行う自習型講座です。1年間で3回受講の募集をしています。

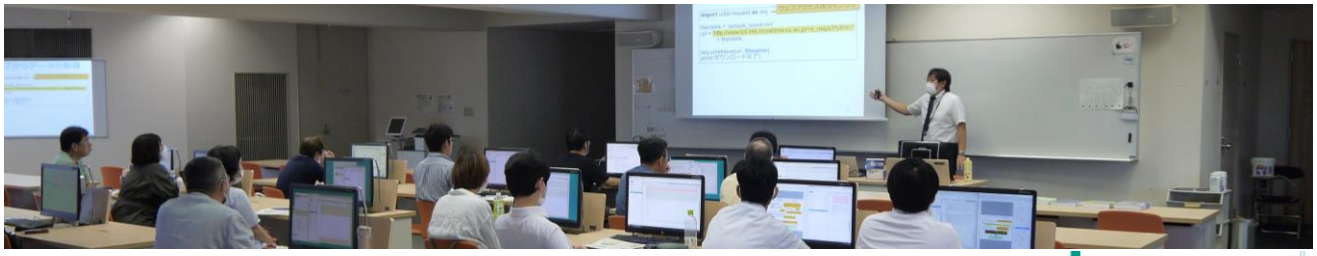
2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
リーディング・リスニング・文法プログラム	18,260円	各期80人	各期 合計123人
スピーキングプログラム	5,000円		
ライティングプログラム	5,000円		
小学校英語教育指導者養成プログラム	5,000円		
通訳ガイド養成プログラム	5,000円		

情報科学部

地域産業の実践的IoT人材育成プログラム

社会人を対象とした、人工知能やロボット技術などの新しい技術を身に付ける実践的な教育プログラムの一環として、機材を用いた実習やプログラミング入門演習を実施しています。

2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
自動車の自律走行	6,200円	5人	5人
Pythonプログラミング演習	6,200円	30人	15人
AI実装プログラミング入門	7,200円	30人	9人



情報科学部講演会

本学教員が2つのテーマについて、それぞれ専門分野から興味深いお話を皆様にお届けします。2023年度は本学サテライトキャンパスでの対面参加とオンライン参加のハイブリッドで開催しました。

2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
「グラフ理論と機械学習」 「人の支援に役立つメカトロニクス技術」	無料	120人	37人

県立広島大学・広島市立大学連携公開講座

県立広島大学・広島市立大学が共催し、講座を開催しています。「ひろしまを考える」は県立広島大学広島キャンパスで、「世界を知る」は本学サテライトキャンパスにて開催しました。
※【 】内は担当講師の所属です。

2023年度実施講座名		受講料	定員	受講者
ひろしまを考える	新規事業を立ち上げるために必要なこと【県立広島大学】	無料	100人 （オンライン60人 +対面40人）	34人
	メタバースの現状と未来【広島市立大学】			33人
	好き・夢を仕事に～県大と市大の卒業生に聞く「起業」～ 【県立広島大学】【広島市立大学】			27人
世界を知る	中国における「礼」文化を読み解く～哲学と言語学の観点から～ 【県立広島大学】【広島市立大学】	無料	100人 （オンライン60人+ 対面40人）	52人
	スポーツを通して見える「世界」 【県立広島大学】【広島市立大学】			41人

芸術学部

芸術学部公開講座

夏休み期間に本学アトリエや工房等で開催します。大学で専門的な考えや知識を学ぶことができます。
初心者向けのコースも開催しています。

2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
日本画	10,200円	25人	24人
油絵（経験者）	（4日間） 10,200円 （2日間 ）7,200円	10人	11人
油絵（未経験者）	（4日間） 10,200円 （2日間 ）7,200円	20人	20人
版画	7,200円	10人	10人
彫刻	6,200円	7人（各日）	9人
金属造形	6,200円	5人（各日）	9人
視覚造形	10,200円	5組（基本１組2人）	1人

芸術学部社会人講座

工芸・版画の分野で研鑽を深めることを希望する方々を対象に、１年間を通して新たな表現技法を習得していただく講座です。本学アトリエや工房等で開催します。
※夏季特別講座は通年コースの受講生のうち、希望者が受講します。

2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
漆（工芸・版画通年コース）	（週4日） 212,000円 （週3日） 172,000円 （週2日） 132,000円 （週1日） 92,000円	計10人 各分野若干名	1人
金工（工芸・版画通年コース）			4人
染織（工芸・版画通年コース）			1人
版画（工芸・版画通年コース）			5人
漆（夏季特別講座）	（6日以内）18,400円 （12日以内） 26,400円 （18日以内） 34,400円 （24日以内） 42,400円	計10人 各分野若干名	1人
金工（夏季特別講座）			4人
染織（夏季特別講座）			1人
版画（夏季特別講座）			不開講

芸術学部社会人講座(工芸・版画通年コース)修了作品展

受講者の研究成果を発表する修了作品展を開催しています。

開催期間：2024年2月14 日 水曜日 ～2月17日 土曜日
開催場所：JMSアステールプラザ
　　市民ギャラリーC（広島市中区加古町４-17）

広島平和研究所公開講座

広島平和研究所は、平和研究の成果を大学・大学院における教育に生かすと同時に、シンポジウムや市民講座を通じて一般に公開し、社会に還元しています。

2023年度実施講座名		会場	受講料	定員	受講者
連続市民講座「広島からウクライナ戦争を考える」	核兵器をめぐる歴史の概観―マンハッタン計画からウクライナ戦争まで	オンデマンド配信	無料	500人	304人
	帝国の崩壊と新国家の分離―ナショナル・アイデンティティの模索―				
	ロシア・プーチン大統領のウクライナ戦争の論理				
	ウクライナにおける戦争と原子力施設への攻撃				
	ウクライナ戦争とエネルギー				
研究フォーラム	ウクライナ戦争を考える	本学 サテライトキャンパス	無料	30人	36人
	Nuclear Minds: Cold War Psychological Science and the Bomb				22人
	東アジアの国際関係ー台湾問題をどう考えるか				15人
	憲法・教育基本法体制と人権としての教育ー戦前・戦後の教育理念の原則と相違				26人
国際シンポジウム	核戦争の危機と被爆地―G7広島サミットを踏まえて	広島 国際会議場	無料	450人	200人
英語による市民講座	The impact of the Myanmar military coup on the domestic situation	本学 サテライトキャンパス	無料	30人	4人
	The impact of Russia's invasion of Ukraine on Japanese energy security				9人
	American hibakusha: the history of Americans exposed to radiation				16人
	Victimhood in Comparison: The Holocaust and Post-Atomic Bomb Human Experience				8人

▶詳細は平和研究所オリジナルサイトよりご覧ください。

芸術学部サマースクール

美術系大学進学希望者（中学生・高校生等）向けの講座です。将来、美術家、工芸家デザイナーを目指すために必要な基礎実技プログラム、美術系大学への進学相談などを各専攻で開設します。

2023年度実施講座名	受講料	定員	受講者
日本画	6,200円	10人	9人
油絵（デッサン）	7,200円	16人	16人
油絵（油彩）	7,200円	16人	16人
彫刻	8,200円	20人	13人
デザイン工芸	6,200円	50人	56人

高校生による情報科学自由研究

夏休みを利用して、情報科学部で研究活動が体験できます。皆さんが楽しみながら情報科学への興味や知識が深まるように、教員と学生が研究活動をサポートします。2023年度は13テーマに、合計108人の高校生が受講されました。

2023年度実施テーマ	
1）作って、チャレンジ！ ロボットサッカー	8）ネットワークにおける「名前」の管理を考えよう ～DNSとICN～
2）無線LANで通信実験！ 色々な場所で通信速度を調べてみよう	9）データに隠された知識をコンピュータで見つけよう ～グラフ構造データとデータマイニング～
3）マイクロマシン技術を用いた呼吸センサ	10）フォトグラメトリーで写真から実物のCGモデルを作る。
4）ミニ・スマートアグリシステムを作ろう！	11）情報オリンピック問題に挑戦しよう！
5）センサを使って運動スキルを分析してみよう	12）Google Colab でAI ～YOLOを利用した物体検出～
6）最先端のオリジナルVRコンテンツをチーム制作してみよう！	13）量子と情報の世界 ～量子シミュレーターを用いた因数分解～
7）論理パズルのAndroidアプリを作ろう！	

2024年度報告会の様子

広島市立大学科学教室

「広島市立大学 科学教室」は広島市立大学の教員と学生の有志による、小学生から高校生を対象とした科学教室です（教員 2 名、学生 10 名）。科学原理をテーマとして身近にある材料を使った工作や実験をとおして理科好きの子供を増やし、広島県の児童生徒の文化活動の振興ならびに将来の科学技術の振興に資することを目的としています。科学原理については中学校から大学レベルの内容についても学習します。

2023年度実施会場	実施テーマ	受講料	定員	受講者
広島市立八幡小学校	ホバークラフト	無料	120人	115人
東広島市立平岩小学校	人工イクラ	無料	200人	250人
安佐南区役所	ホバークラフト	無料	20組	13組
広島市楽々園児童館	人工イクラ	無料	60人	60人
大塚公民館	シャボン玉	無料	20人	13人

いちだいサイエンスパーク

小中学生を対象に、理科実験教室を行います。2023年度はジ・アウトレット広島のシティコートで2日間開催し、児童生徒654人とその保護者らを含め、計1,839人にご参加いただきました。

2023年度実施テーマ					
絵具でイクラ？	光で脈をはかる？	文字で肖像画？	タイヤのない車？	レモンで電池？	自動ではたらく日用品？

▶いちだいサイエンスパーク当日の様子は全学公式サイトよりご覧ください。

産学連携発表会の開催

広島市立大学の研究シーズを地域産業界や産学官連携推進関係機関等へ広く紹介するため、「産学連携発表会」を毎年開催し、研究シーズの紹介、デモンストレーション、技術相談等、参加者と大学研究者の交流を通じて、地域産業界との協働研究への発展を目指します。
2023年度は「共創×人材×ＤＸで広がる無限の可能性」をメインテーマに、地域共創DXと産業界、大学、地域との関わりや地域におけるデジタル人材育成について紹介しました。

【2023年度実施内容】
日時：２０２３年９月５日（火）１３：００～１６：３０
会場：合人社ウェンディひと・まちプラザ（広島市まちづくり市民交流プラザ）

第一部　講演会
基調講演　「地域創生のための共創によるDX推進とデジタル人材育成」
日本アイ・ビー・エムデジタルサービス株式会社 代表取締役社長 井上 裕美 氏

研究者講演「ラーニングアナリティクスに基づく教育・学習改善に向けて」
広島市立大学大学院 情報科学研究科 准教授　毛利　考佑

産学連携教育紹介
「情報科学部・研究科における情報系人材育成のための実践的教育について」
広島市立大学大学院 情報科学研究科 副研究科長 井上　智生

第二部　マッチングセッション・交流会
・情報科学研究科の展示（研究紹介）
・大学発ベンチャー企業の展示（事業紹介）
・産学連携関係団体の展示（事業紹介）

▶2024年度の産学連携発表会については特設サイトよりご覧ください。

各種展示会等への参加

各種展示会や産学連携イベント等に積極的に参加し、行政・金融機関、民間団体、企業等との連携を強化するとともに、研究活動の紹介と新たなニーズの発掘を通じ、研究活動及び共同研究、受託研究のより一層の推進に努めています。

【主な出展行事】

行事名	内容	主催
イノベーション・ジャパン～大学見本市＆ビジネスマッチング～	大学等の研究シーズを一堂に集め、企業へ紹介し産学連携の推進、技術移転の場を提供することで、産業活動の活性化を目指す、国内最大規模のマッチングイベント。	科学技術振興機構 新エネルギー・産業技術総合開発機構
新技術説明会	大学の特許を技術移転させることを目的に、新技術や産学連携に関心の高い企業関係者に向けて、発明者自らが直接プレゼンを行い、広く共同研究等のパートナーを募る。	さんさんコンソ (中国地域産学官連携コンソーシアム)
ひろしまIT総合展	1987年から隔年で過去17回にわたり大規模なIT展示会の開催を継続し、ITによる地域経済の活性化を推進する西日本最大級のIT総合イベント。	ひろしまIT総合展実行委員会

産学連携教育 ～大学と一緒に教育・人材育成を！～

地域社会との積極的な連携による教育プログラムを設計しました。
団体・企業様に大学で講義を受け持っていただき、学生と一緒に地域課題の解決やシステム開発に取り組むことで地域社会や地域産業に根ざした人材育成を行います。

産学連携教育の目指すところ

→ 地域社会で、特にIT分野で意欲的に活躍し、本地域のIT利活用推進に貢献できる人材を育成する
→ 大学の専門基礎力に加え、企業や自治体とのITを必要とする現場において実践的専門教育を提供する
→ 企業に大学の人材を知ってもらう
→ 地域・産業界が求める人材像を学生が知り、自らの将来像を早く描く
→ 教育を通して、企業との共同研究に展開する

授業や講座をリニューアルしました

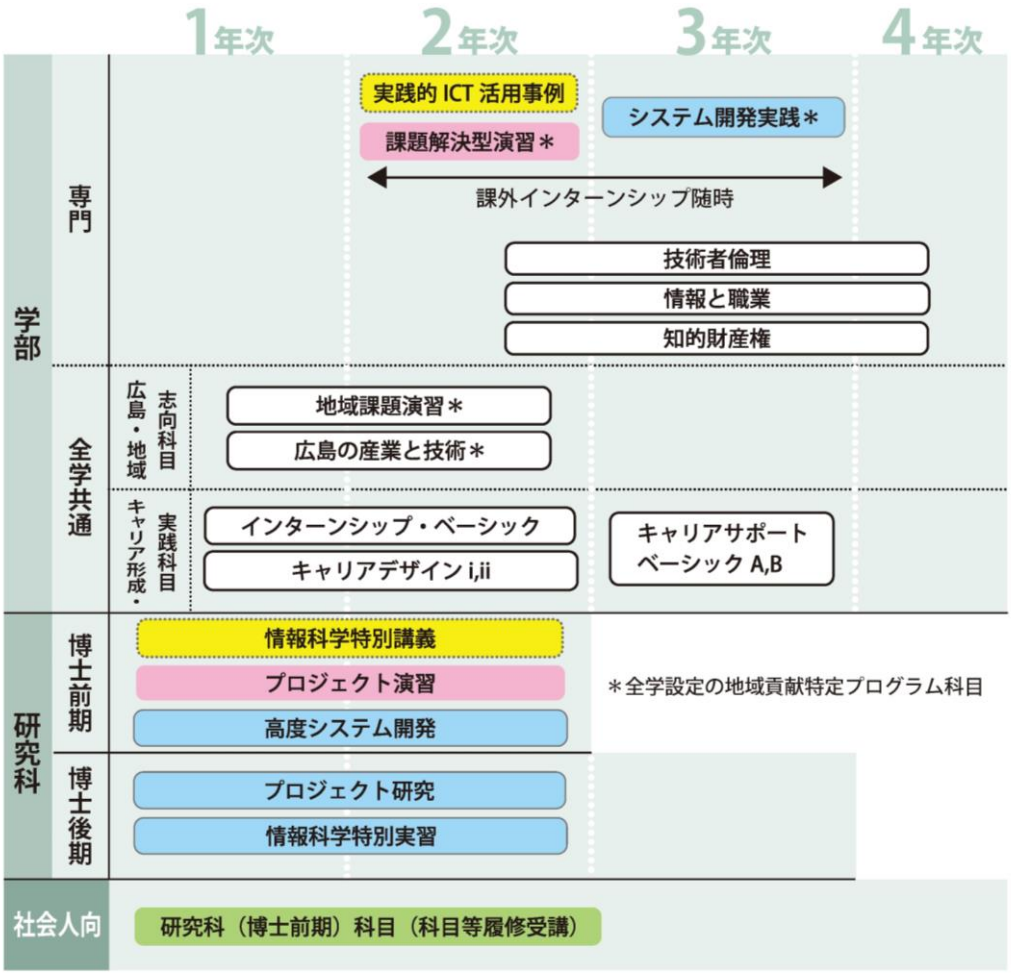
従来開講の産学連携教育の関連科目に加え、新たな４タイプの科目を設定しました。

A 知る！
地域課題、企業の課題やIT人材育成の必要性、またこれらの解決に向けた取り組みを講述する科目

B 深める！
地域教育や企業から提示された課題に対して問題発見型、課題解決型学習を通して、課題の背景調査や課題解決のプロセスを体験する科目

C 実践する！
地域課題や企業の課題解決の取り組みを企業等現場で体験するとともに、取り組みに関連するシステム開発などに参加する科目

S 社会人（市民）向け リカレント教育用講座



・色なし科目は従来から開講の産学連携教育関連科目　・年次は想定対象学年で、上級年次学生も受講可能
・科目名は変更する場合があります

▶詳細は本学公式サイトよりご覧ください。

【技術相談への対応】

企業等から寄せられる技術相談に対応し、研究シーズと企業ニーズのマッチングを通じ、受託研究、共同研究を推進しています。
▶詳細は本学公式サイトよりご覧ください。

【研究シーズ集】

本学教員の最新の研究成果に基づいた技術シーズを公表しています。
▶詳細は本学公式サイトよりご覧ください。

【外部資金の獲得状況】（「公立大学法人広島市立大学の概要」より抜粋）

①科学研究費助成事業(交付決定額)

単位：千円

区分	2019		2020		2021		2022		2023	
直接経費	69件	91,200	67件	79,900	59件	65,750	56件	52,850	50件	45,100
【参考】間接経費		26,160		23,970		19,365		15,855		13,530
計		117,360		103,870		85,115		68,705		58,630

※件数及び金額は、本学研究代表者分であり、特別研究員奨励費を除く。

②その他の外部資金獲得状況

単位：千円

区分	2019		2020		2021		2022		2023	
共同研究・受託研究費	52件	93,636	48件	72,057	47件	48,980	62件	74,043	66件	64,906
補助金	2件	30,057	2件	24,196	3件	21,311	2件	33,961	5件	46,692
奨学寄附金	15件	13,347	12件	11,302	11件	9,966	10件	9,561	9件	9,295
合　計	69件	137,040	62件	107,555	61件	80,257	74件	117,565	80件	120,893

【特許出願、知的財産管理】

区分	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
特許出願件数	21	11	14	16	15	11	9	5	12	5	8
商標出願件数	4	1	0	0	0	0	0	2	0	3	0
審査請求件数	2	6	5	14	8	1	9	4	9	4	3
特許登録件数	7	1	2	7	12	7	6	3	8	6	3
商標登録件数	4	1	0	0	0	0	0	0	2	0	3
特許権の譲渡件数	0	0	0	2	1	7	8	0	0	9	1

【本学所有の特許・商標一覧】（2024年8月現在）

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
1	2012.5.11	第4985098号	特願2007-138382	運転訓練システム
2	2013.1.11	第5548980号	商願2012-37104	Hiroshima City University
3	2013.8.2	第5327735号	特願2007-271204	信号再生装置
4	2013.9.6	第5354485号	特願2007-340381	発声支援方法
5	2013.10.25	第5625331号	商願2013-040684	３つのひかり　未来をつくる
6	2014.11.28	第5721925号	商願2014-013959	みみスイッチ
7	2015.11.27	第5842266号	特願2011-281996	映像配信プラットフォームおよび映像配信方法
8	2016.7.15	第5967758号	特願2012-150807	荷重測定装置

No.	登録年月日	特許番号	出願番号	発明名称
9	2016.10.7	第6014931号	特願2012-195770	視線計測方法
10	2017.1.6	第6066292号	特願2013-005338	多機能情報端末及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法
11	2017.4.25	第9633439号 （米国特許）	14/418663	画像処理システムおよび画像処理方法
12	2017.8.25	第6195245号	特願2013-260280	モバイルアドホックネットワークアーキテクチャー及びモバイルアドホックネットワークアーキテクチャーの通信方法
13	2018.3.2	第6297611号	特願2016-031648	転倒検知装置及び転倒判定方法
14	2018.4.20	第6325234号	特願2013-231642	減速タイミング通知装置
15	2018.8.3	第6376680号	特願2014-029848	通信システム及び通信方法
16	2019.2.8	第6473872号	特願2015-152945	映像構築装置、疑似視覚体験システム、および映像構築プログラム
17	2019.8.16	第6570224号	特願2014-162391	自動車の外界認知性計測システム
18	2020.2.5	第6655247号	特願2016-38570	情報処理装置
19	2020.10.23	第6782940号	特願2016-167180	舌位・舌癖判定装置、舌位・舌癖判定方法及びプログラム
20	2020.10.23	第6782946号	特願2017-160560	音質制御システム、音質制御方法及び動力機械
21	2020.11.4	第6788303号	特願2019-535697	モーションベース
22	2020.11.16	第6795190号	特願2017-038857	歩行感覚呈示装置及び呈示方法
23	2021.3.9	第10942187号 （米国特許）	16/145509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
24	2021.3.22	第6856194号	特願2016-212332	医療用流れ測定装置およびその製造方法
25	2021.6.9	第6400229号	商願2020-133548	心をつなぐ　知の拠点
26	2021.7.6	第6412193号	商願2020-133549	図形（金色）
27	2021.7.15	第6913938号	特願2017-109614	情報処理装置および情報処理方法
28	2021.8.26	第6934679号	特願2019-046801	ブロックチェーン取引作成プロトコル、及びブロックチェーンアドレス作成方法
29	2021.10.29	CN109073590B （中国特許）	201780021302.9	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
30	2021.11.15	第6978001号	特願2018-508026	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
31	2021.11.24	EP3438278 （英、独特許）	EP17775006.4	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
32	2021.12.6	第6989127号	特願2018-076719	道路修繕順位決定システム
33	2021.12.24	第6999141号	特願2020-116274	生体情報収集システム及びセンサユニット
34	2022.5.20	第7076732号	特願2018-036434	アデノイド肥大判定装置、アデノイド肥大判定方法及びプログラム
35	2022.6.7	第7084576号	特願2018-088459	流れ測定装置
36	2022.8.22	第7127839号	特願2019-031119	予測調整型サスペンション制御システム
37	2022.12.8	第7190685号	特願2019-544509	アミノ酸定量方法及びアミノ酸定量用キット
38	2022.12.28	第7202638号	特願2019-026986	先端分離型マイクロニードル
39	2023.1.23	第7215678号	特願2019-030009	生体情報測定装置、生体情報測定方法及びプログラム
40	2023.1.31	第7219437号	特願2018-139191	秘匿演算変換システム、秘匿演算変換方法、秘匿演算変換プログラム、および記録媒体
41	2023.5.17	第7281039号	特願2018-235108	ホディーエリアネットワーク通信方式
42	2023.8.22	第6732272号	商願2023-017968	図形商標（1）
43	2023.8.22	第6732273号	商願2023-017969	図形商標（2）
44	2023.8.22	第6732274号	商願2023-017970	図形商標（3）
45	2023.12.11	第7401046号	特願2019-189092	脳機能計測装置及び脳機能計測方法
46	2024.3.25	第7460155号	特願2020-556169	脳機能計測装置及び脳機能計測方法

（商標8件（全件単独）、特許38件（国内単独20、国内共願14、外国共願4））

公開講座やイベント情報等を広島市立大学LINE公式アカウントでお知らせしています。

▶広島市立大学LINE公式アカウント
ID：@hiroshima-cu

研究紹介ポスター・地域貢献事業紹介ポスター

本学の研究や地域貢献事業をポスター展示として紹介しています。

▶研究紹介ポスター展示

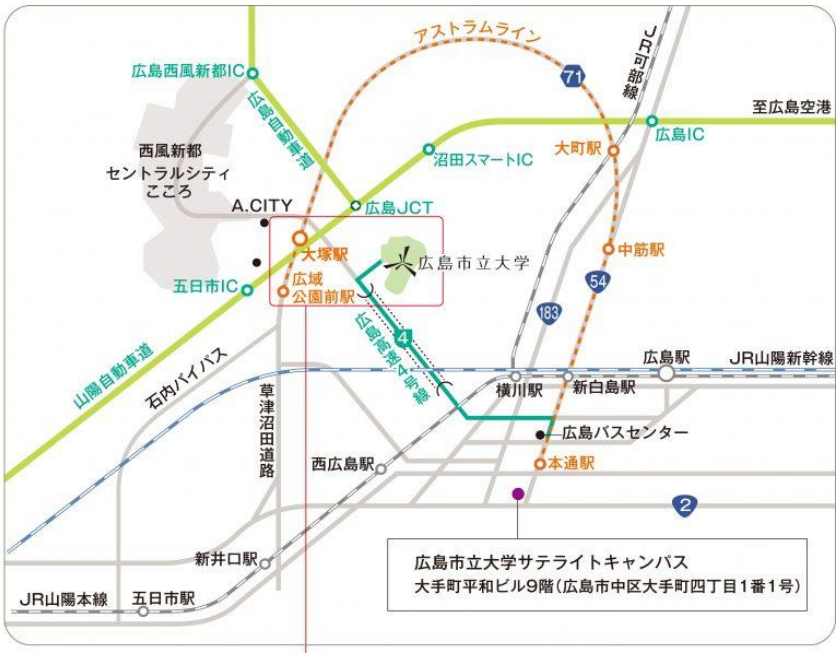
▶地域貢献事業ポスター展示

地域共創センター組織体制

地域共創センター長・・・・・・１名
次長・・・・・・・・・・・・・・１名
特任教員・・・・・・・・・・・・３名
産学連携コーディネーター・・・１名
地域共創副センター長・・・・・１名
職員・・・・・・・・・・・・・１０名
知的財産マネージャー・・・・・１名
地域連携コーディネーター・・・１名

アクセス案内

広域マップ



大学周辺図

広島市立大学地域共創センター
〒731-3194
広島市安佐南区大塚東三丁目４番１号
（情報科学部棟別館１階）

公立大学法人広島市立大学 地域共創センター

2024年4月1日より社会連携センターから名称変更しました。

地域連携グループ
TEL . 082-830-1542
FAX . 082-830-1555
E-mail . chi-ren@m.hiroshima-cu.ac.jp

研究推進・産学連携グループ
TEL . 082-830-1764
FAX . 082-830-1555
E-mail . ken-san@m.hiroshima-cu.ac.jp